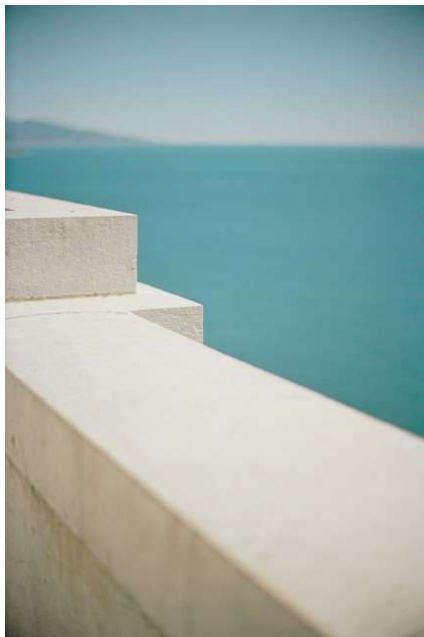


プレスリリース

**瀧本幹也氏が切り撮るモナコ写真展**  
**「MONACO Azur」「MONACO Gracieux」**  
**ライカギャラリー東京・ライカギャラリー京都にて開催**



©Mikiya Takimoto

モナコ政府観光会議局（所在地：モナコ公国）は、2024年12月6日（金）～2025年3月9日（日）に東京、2024年12月7日（土）～2025年3月9日（日）に京都にて、写真家 瀧本幹也氏によるモナコの写真展が2か所で同時開催されることをお知らせします。

この写真展では、CM映像や広告写真をはじめ、映画作品の撮影を手掛け、国内外で作品発表や出版など多彩な活動続ける瀧本氏がモナコに渡り、これまでのモナコの写真とは全く異なる、独自の視点で撮り下ろした写真を展示致します。モナコ政府観光会議局はこの写真展開催を後援し、日本の皆さまがこの写真展を通し、地球環境と伝統を守りながら、革新性を追求するモナコの新たな面に触れていただくことに期待しています。

モナコは小さな面積の国ながら、優雅さと美しさを放っています。瀧本氏の写真は、過去から未来へと物語を紡ぎ、この美しい地球を守ることの大切さを静かに伝えています。モナコでの写真撮影について、瀧本氏は以下のように述べています。

「モナコは、自然の美と歴史、革新的な都市デザインが見事に調和した類まれな国です。実際に街を歩くと、その多面的な魅力に気づきます。歴史的建造物や先進的なデザインの街並みはモノクロデジタルで撮影し、紺碧の海や自然の美しさはカラーのフィルムで捉えました。このコントラストが、モナコの魅力をより一層引き立てています。」

## 写真展 概要

### <東京>

タイトル： **MONACO Azur アジュール**

会期： 2024年12月6日（金）— 2025年3月9日（日）

11:00～19:00 月曜定休

会場： ライカギャラリー東京（ライカ銀座店 2F）

<https://leica-camera.com/ja-JP/Leica-Galleries/Leica-Gallery-Tokyo>

東京都中央区銀座 6-4-1 2F Tel. 03-6215-7070

展示作品数：17点



### <京都>

タイトル： **MONACO Gracieux グラシュー**

会期： 2024年12月7日（土）— 2025年3月9日（日）

11:00～19:00 月曜定休

会場： ライカギャラリー京都（ライカ京都店 2F）

<https://leica-camera.com/ja-JP/Leica-Galleries/Leica-Gallery-Kyoto>

京都府京都市東山区祇園町南側 570-120 2F Tel. 075-532-0320

展示作品数 15点



### モナコ その優雅、紺碧

小さいが故に、輝きを放つものがある。密やかゆえに、  
その優雅な仕草に心が奪われることがある。

人類が長い時間をかけて築き上げてきた社会をより良い方向へと導いてきた高貴な精神は今、限界知ら  
ずの人間の欲望の前に、消え去ろうとしている。

人間の魂のありようを表現するアートでさえ、最新テクノロジーが可能にした節操のない選択肢を前  
に、培ってきた美学や自制心を手放そうとしている。

ただ、そのような価値観の転換期において、選び抜かれた 32 枚の写真で綴られた、  
一つの国を永遠に語り継ぐ物語がここに生まれた。掌に収まる小型カメラだけが  
可能にする控えめな振る舞いが捉えたその時空間。

ここには、過去、現在、そしてこれからも流れるだろう

“この国に約束された未来の時間”が写っている。

コート・ダジュールに面した世界で 2 番目に小さな国、モナコ。

瀧本幹也は祈りを込めて静かにシャッターを切った。

彼が描き出したその風景の連なりには、観る者にどのように世界と向き合い、

どのようにこの美しい惑星を守るのかを

無言で諭しているかのように感じるのは私だけだろうか？

太田菜穂子

#### ◆写真家プロフィール： 瀧本幹也氏



1974 年生まれ。98 年に写真家として独立。以後、広告写真や CM 映像をはじめ国内外での  
作品発表や出版など、幅広く活動を続ける。代表作に『BAUHAUS DESSAU』（2005）、  
『SIGHTSEEING』（2007）、『LOUIS VUITTON FOREST』（2011）、『LANDSPACE』  
（2013）、『GRAIN OF LIGHT』（2014）、『Le Corbusier』（2017）、『CHAOS』  
（2018）などがある。また、写真と映像で培った経験と表現者としての視点が評価され、是枝裕  
和監督作『そして父になる』『海街 diary』『三度目の殺人』で撮影を務める。近年の展示では、  
『CHAOS 2020』（妙満寺、京都、2020）、『PRIÈRE』（大阪市中央公会堂、2021）、  
『CHAOS 2023』（OGATA Paris、パリ、2023）、『丹下健三と隈研吾』展（パリ日本文化

会館、2024）、『LUMIÈRE / PRIÈRE』（ヒルサイドフォーラム、東京、2024）などがある。作品は東京都写真美術館などに收藏されて  
いる。

<https://mikiyatakimoto.com/>

## ◆ライカカメラ社について

ライカカメラ社は、カメラ製品とスポーツオプティクス製品をグローバルに展開するプレミアム企業です。卓越した品質の製品を作り続けた長きにわたる伝統とドイツのクラフツマンシップや革新的な技術と結びついた工業デザインにより、ライカブランドは伝説と呼ばれるほどの評価を確立しています。写真界の発展に寄与する活動として、世界各地に展開するライカギャラリーやライカアカデミーに加えて、「Leica Hall of Fame Award」の創設や、世界で最も権威のある国際写真コンテストのひとつとして認知されている「ライカ・オスカー・バルナックアワード

(LOBA)」を主催するなど、さまざまな文化活動も行っています。

ライカカメラ社は、ドイツのヘッセン州のウェッツラーに本社を置き、ポルトガルのヴィラ・ノヴァ・デ・ファマリカンに第二工場を持っています。また、世界の各地域に拠点を築き、直営の販売店を独自のネットワークにより運営しています。

以上

## モナコ政府観光会議局の役割について

日本におけるモナコ政府観光会議局は、他の海外事務局のネットワークを活用しながら、グローバルな規模で観光事業を推進し、モナコ公国（以下 モナコ）への渡航者需要の喚起に努めています。

これまでの「レスポンシブル・ラグジュアリー」（Responsible Luxury: 地球に優しいラグジュアリー）のコンセプトはそのままに、**<Like Nowhere Else 比類なき美しい国、モナコ>**を2023年から観光テーマとして掲げています。

モナコは、世界中の裕福な人々が集まる国としても知られていますが、観光客に様々な施設やサービスを楽しんでいただくだけでなく、2030年までに55%の温室効果ガス排出を削減、2050年までにカーボンニュートラルの実現を目標としています。政府、観光局、ホテルはもちろん観光業を取り巻くさまざまなパートナーとともに、限りある資源を最適化し、地球、海洋保全の活動に積極的に取り組み、伝統を守りつつもイノベーションを促進し、文化の創造を続けるモナコを、渡航先として選んでいただけるよう様々な活動を展開しています。

モナコ政府観光会議局日本事務局はモナコ政府支援による国家事業として、ビジネスおよびレジャー観光に関する事業について様々なアドバイスをご提供いたします。

## プレスの方からのお問合せ先

キャンドルウィック株式会社内 キャシー・横山・三浦葵

Tel: 03-6261-6005 / Fax: 03-6261-6051 / E-mail: [monaco@candlewick.co.jp](mailto:monaco@candlewick.co.jp)

モナコ政府観光会議局公式ページ: <https://monacotabi.jp/>

公式 Facebook ページ: <https://www.facebook.com/visitmonaco/>

公式 Instagram ページ: <https://www.instagram.com/monacotabi/>

公式 YouTube アカウント: <http://bit.ly/MonacoJPYouTube>